



変更内容

Version: v6.2.41

リリース内容一覧

- 改善項目
 - データ編集フロー実行処理のパフォーマンス改善

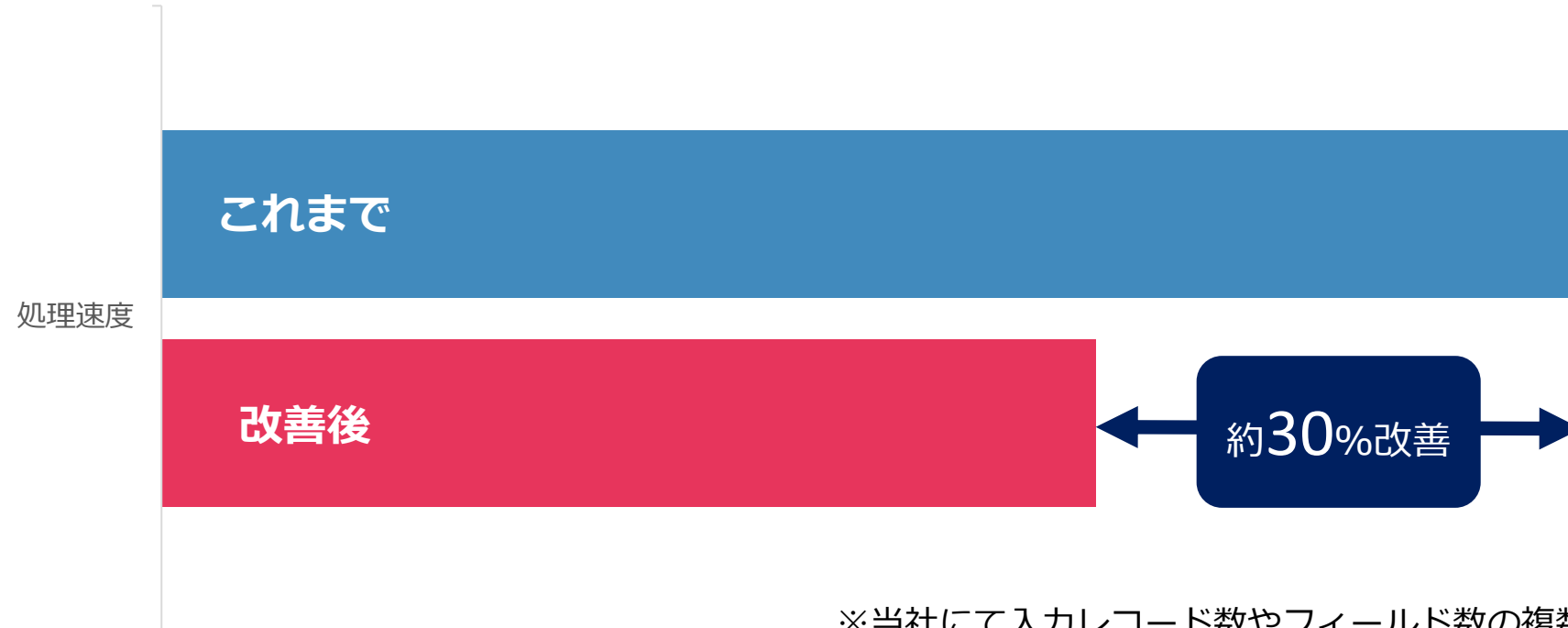
改善項目



データ編集フロー実行処理のパフォーマンス改善

krewDataの性能改善を行いました。入力レコード数が1万件以下の場合に処理速度が速くなる可能性があります。

当社テストでは、入力レコード数が1,000以上10,000以下の場合に約30%処理速度が改善しました。



※当社にて入力レコード数やフィールド数の複数組合せによるパフォーマンステストを行った結果から算出した平均値となります。

※全てのフローで同等に改善するものではなく、各フローや実行タイミングによって異なります。パフォーマンスに関する考え方は次頁をご参照ください。

【補足】 krewDataのパフォーマンスに関する考え方

krewDataでデータ編集フローを実行する際の処理速度は下記4つの要素によって変動します。今回は①に伴う内部処理を最適化することで性能改善を行いました。※①～④は複合的に影響するため、①の改善によって必ず性能が向上するものではありません

①データ量 × ②処理内容 × ③出力方法 × ④外部環境

1. データ量

「レコード数」と「フィールド数」を指します。入力アプリにて最小限になるよう絞り込むことがパフォーマンス向上の手段の1つです。

2. 処理内容

データ編集フロー内の処理を指します。結合処理等によりレコード数が増加する場合はパフォーマンスに影響します。

3. 出力方法

出力アプリにデータを出力する方法を指します。krewDataでは「追加」「再生成」「更新または追加」のいずれかから選択できます。更新するレコードが少ないほど効率的に処理できます。

4. 外部環境

kintone APIの処理速度等、krewDataの外部による処理を指します。